

目 次

序 章

日野の風土	.....
教育の流れ	.....
社会教育の流れ	.....

6 4 2

日野市戦後教育史 目 次

序

日野市戦後教育史の刊行にあたつて

監修のことば

本史編さん的基本方針

凡 例

題字

日野市長 森田 嘉美男

# 第一期 混迷から新教育の発足

(敗戦より日野市制前 昭和二〇年(三七年ごろまで)

目

## 概 説

### 第一章 教育行政財政

10

第一節 新教育方針と六・三制の発足	12	三 教育委員会の発足	.....
一 占領下の教育	12	四 地教行法の発足と教育委員任命制	.....
二 新教育方針と教育体制	12	五 教育関係法令の制定と日野の対応	32 30
三 六・三制の発足	14	一 新教育に対応するための再教育	36
四 新制中学校の設置と課題	16	二 教職員適格審査	37
迫られる校舎建築	16	三 認定講習	38
五 教職員組合の結成	25	四 教職員の職務と待遇	40
六 教育委員会の設置	27	五 勤務評定	42
七 教育委員会法の制定	27	六 学力調査	44
八 教育委員の選挙	29	七 教職員の研修・研究(奨励制度と研究委託)	45

目 次

## 第二章 小学校教育

第一節 敗戦と教育の再興	68	八 新たな教職員の配置	47
一 授業の再開	68	九 校給食の開始	50
二 軍国主義教育の排除	71	十 新たな教職員の配置	50
三 国民学校から小学校へ	74	十一 新たな教職員の配置	50

第二節 学校給食の開始	50	二 分校の独立と新設校	79
第三節 新教育内容と指導	84	三 教育課程の編成と研究	91
一 学習指導要領と教育内容 試案・改訂(一次)	84	四 「わたしたちの日野」発刊と活用	94
二 新教育内容への取り組み	87	第五節 系統学習と指導	96
三 教育課程の編成と研究	91	一 学習指導要領の改訂(二次)	96
四 「わが子の成長記録」発行	96	二 基礎学力を重視した授業	98
五 学校医の制度化	101	三 道徳の時間の特設	99
		四 科学技術教育の推進	101
		五 視聴覚教育の実践	102
		第六節 健康・安全教育	104
		一 学校保健委員会の発足と活動	104
		二 交通安全指導	106



## 第三節 町・村民の連帯と活動

## 第五章 幼稚園教育

## 第一節 新しい幼稚園制度

一 幼稚園復活の通達 ..... 192

二 新しい幼稚園制度の成立 ..... 192

## 第二節 公立幼稚園設置への動き

一 日野町教育委員会の動き ..... 196

二 幼稚舎の設置 ..... 196

三 社会教育課の新設 ..... 198

## 第六章 社会教育

## 第一節 地域社会教育期

一 社会教育の振興 ..... 200

二 社会教育体制の確立 ..... 203

三 社会教育課の新設 ..... 211

## 第二節 成人学校

一 青年学級 ..... 229

二 婦人学級 ..... 229

三 文化団体の活動(日野史談会) ..... 227

## 第四節 学習機会の台頭

一 教育メディアの活用 ..... 227

二 成人学校 ..... 227

三 青年学級 ..... 227

四 婦人学級 ..... 227

五 文化団体の活動(日野史談会) ..... 227

## 第二期 整備から発展へ

(日野市制より人口・学校急増期 昭和三八年～五六六年ごろまで)

## 概説

## 第一章 教育行財政

240

## 第二節 市制施行

242

一 人口急増 ..... 242

二 財政状況 ..... 242

## 第三節 教育委員会の組織・機構

242

一 組織 ..... 242

二 教育目標と指導の重点 ..... 242

三 教育相談室の設置 ..... 248

四 PTA公費負担の解消と教材教具の充足 ..... 253

五 機構改革 ..... 253

257

## 第四節 学校の新設と学区変更

259

一 滝合小学校の新設と中央線平山大踏切の横断(昭和四六年度開校) ..... 262

二 開校と同時に教室不足に見舞われた平山台小学校(昭和五三年度開校) ..... 263

三 「学校公害」と抗議された三沢台小学校の誕生(昭和五五年度開校) ..... 265

## 第五節 心身障害学級の新設と障害児の教育

266

一 の教育 ..... 266

## 第六節 町・村民の連帯と活動

268

二 婦人会 ..... 268

一 心障学級・訪問学級・就学指導	270	第一〇節 新たな課題	303
二 社会教育との関連	274	一 光化学スマップ	303
<b>第六節 教職員の研修・研究と厚生組織</b>	276	二 学校警備	304
一 日野市公立学校教育研究会	276	三 補助金の見直し	304
二 研究委託と奨励制度・授業研究	277	四 都立高校の誘致	305
三 日野市教職員互助会の発足と発展	285	五 教科書(学校採択から広域採択へ)	309
<b>第七節 社会教育施設の整備</b>	287		
一 市民プール	287		
二 大成荘	288		
三 市立図書館	288		
四 中央公民館	289		
五 多摩川グランド	291		
六 学校開放	292		
七 夜間照明	293		
八 南平体育館	294		
九 七生公会堂	295		
<b>第八節 日野市学校保健会の設立</b>	298		
<b>第九節 日野市学校給食会の設立</b>	297		
(イ) 平山台小学校	318		
(ロ) 東光寺小学校	319		
(ハ) 三沢台小学校	319		
<b>第二節 教育内容の現代化</b>	320		
一 学習指導要領の改訂(三次)	320	四 日光修学旅行(日光移動教室)	348
二 「調和と統一」のある教育課程の編成	322	五 夏季施設・その他	349
三 教育工学への関心	324		
四 地域観察学習	326		
<b>第三節 ゆとりと充実を求めて</b>	329		
一 学習指導要領の改訂(四次)	329		
二 創意ある教育課程の編成	331		
三 学校裁量時間の活用	334		
四 学習指導法の工夫	335		
五 生産・体験学習の実践	337		
<b>第四節 学校行事</b>	339		
一 儀式的行事	342		
二 周年行事	342		
三 体育的・芸術的行事	339		
(イ) 平山台小学校	318		
(ロ) 東光寺小学校	319		
(ハ) 三沢台小学校	319		
<b>第五節 連合行事</b>	351		
一 日野市連合行事・交流行事	351		
二 水泳記録会	352		
三 書き初め展・図工展	353		
四 市民合唱祭	356		
五 陸上記録会	358		
六 球技大会(ミニバスケットボール)	360		
<b>第六節 健康・安全教育</b>	361		
一 児童の体位・体力・肥満	361		
二 光化学スマップと公害教育	364		
三 安全教育の推進と実践	366		
<b>第七節 学校給食</b>	369		
一 給食指導	371		
二 学校給食の研究	374		
三 地場産業の活用	376		
<b>第八節 児童の状況</b>	369		

## 目次

一 社会の変化に伴う児童の状況（健子・テレビっ子・学童クラブ）	(1) 日野第三中学校
二 落ちこぼれの論議と塾通い	(2) 日野第四中学校
三 登校拒否といじめ	(3) 三沢中学校
<b>第九節 教職員の研修・研究</b>	(4) 大坂上中学校
一 幼・小・中学校（園）合同研究会	○ 幻と消えた中学校
二 授業研究の発足と研究内容	408
三 授業研究連絡協議会の運営	406
四 管外派遣による研修	407
<b>第一〇節 学校と家庭・地域</b>	407
一 学校と家庭の協力	408
二 公立学校PTA協議会の活動	409
三 地域の教育力（学校と家庭の連携）	410
<b>第三章 中学校教育</b>	411
第一節 新設五校の開校	396
第二節 教育内容の現代化	408
一 学習指導要領の改訂（三次）	408
二 指導内容を大幅に増加した授業	409
三 「のびゆく日野」の刊行と活用	410
第三節 ゆとりと充実を求めて	411
一 学習指導要領の改訂（四次）	411
二 指導内容を精選した授業	412
三 選択教科の授業	413
<b>第四節 学校行事</b>	414
一 儀式的・学芸的・体育的行事の変せん	414
二 夏季施設	415
<b>第五章 幼稚園教育</b>	416
第一節 都立七生養護学校設置までの経緯	424
第二節 特殊学級推進協議会の組織と事業	425
第三節 心身障害教育の推進	426
一 訪問学級の開設	427
二 新たな心障学級の設置	428
<b>第六節 健康・安全教育</b>	429
一 生徒の健康・体位・体力の実態	429
二 安全指導の推進	430
<b>第七節 学校給食</b>	431
一 ミルク給食の実施	432
二 完全給食実施への動き	433
<b>第八節 生徒の状況</b>	434
一 市内中学校進学率の推移	435
二 都立高等学校選抜制度の改正	436
三 生活指導連絡協議会と非行問題	437
四 クラブ活動と部活動の実態	438
<b>第九節 教職員の研修・研究</b>	439
一 レビュースタッフの活動	440
二 教育研究会の運営	441
三 教育研究会連絡協議会	442
四 教育研究会連絡協議会	443
五 教育研究会連絡協議会	444
六 教育研究会連絡協議会	445
七 教育研究会連絡協議会	446
八 教育研究会連絡協議会	447
九 教育研究会連絡協議会	448
十 教育研究会連絡協議会	449
十一 教育研究会連絡協議会	450
十二 教育研究会連絡協議会	451
十三 教育研究会連絡協議会	452
十四 教育研究会連絡協議会	453
十五 教育研究会連絡協議会	454
十六 教育研究会連絡協議会	455
十七 教育研究会連絡協議会	456
十八 教育研究会連絡協議会	457
十九 教育研究会連絡協議会	458
二十 教育研究会連絡協議会	459
二十一 教育研究会連絡協議会	460
二十二 教育研究会連絡協議会	461
二十三 教育研究会連絡協議会	462
二十四 教育研究会連絡協議会	463
二十五 教育研究会連絡協議会	464
二十六 教育研究会連絡協議会	465
二十七 教育研究会連絡協議会	466
二十八 教育研究会連絡協議会	467
二十九 教育研究会連絡協議会	468
三十 教育研究会連絡協議会	469
三十一 教育研究会連絡協議会	470
三十二 教育研究会連絡協議会	471
三十三 教育研究会連絡協議会	472
三十四 教育研究会連絡協議会	473
三十五 教育研究会連絡協議会	474
三十六 教育研究会連絡協議会	475
三十七 教育研究会連絡協議会	476
三十八 教育研究会連絡協議会	477
三十九 教育研究会連絡協議会	478
四十 教育研究会連絡協議会	479
四十一 教育研究会連絡協議会	480
四十二 教育研究会連絡協議会	481
四十三 教育研究会連絡協議会	482
四十四 教育研究会連絡協議会	483
四十五 教育研究会連絡協議会	484
四十六 教育研究会連絡協議会	485
四十七 教育研究会連絡協議会	486
四十八 教育研究会連絡協議会	487
四十九 教育研究会連絡協議会	488
五十 教育研究会連絡協議会	489
五十一 教育研究会連絡協議会	490
五十二 教育研究会連絡協議会	491
五十三 教育研究会連絡協議会	492
五十四 教育研究会連絡協議会	493
五十五 教育研究会連絡協議会	494
五十六 教育研究会連絡協議会	495
五十七 教育研究会連絡協議会	496
五十八 教育研究会連絡協議会	497
五十九 教育研究会連絡協議会	498
六十 教育研究会連絡協議会	499
六十一 教育研究会連絡協議会	500
六十二 教育研究会連絡協議会	501
六十三 教育研究会連絡協議会	502
六十四 教育研究会連絡協議会	503
六十五 教育研究会連絡協議会	504
六十六 教育研究会連絡協議会	505
六十七 教育研究会連絡協議会	506
六十八 教育研究会連絡協議会	507
六十九 教育研究会連絡協議会	508
七十 教育研究会連絡協議会	509
七十一 教育研究会連絡協議会	510
七十二 教育研究会連絡協議会	511
七十三 教育研究会連絡協議会	512
七十四 教育研究会連絡協議会	513
七十五 教育研究会連絡協議会	514
七十六 教育研究会連絡協議会	515
七十七 教育研究会連絡協議会	516
七十八 教育研究会連絡協議会	517
七十九 教育研究会連絡協議会	518
八十 教育研究会連絡協議会	519
八十一 教育研究会連絡協議会	520
八十二 教育研究会連絡協議会	521
八十三 教育研究会連絡協議会	522
八十四 教育研究会連絡協議会	523
八十五 教育研究会連絡協議会	524
八十六 教育研究会連絡協議会	525
八十七 教育研究会連絡協議会	526
八十八 教育研究会連絡協議会	527
八十九 教育研究会連絡協議会	528
九十 教育研究会連絡協議会	529
九十一 教育研究会連絡協議会	530
九十二 教育研究会連絡協議会	531
九十三 教育研究会連絡協議会	532
九十四 教育研究会連絡協議会	533
九十五 教育研究会連絡協議会	534
九十六 教育研究会連絡協議会	535
九十七 教育研究会連絡協議会	536
九十八 教育研究会連絡協議会	537
九十九 教育研究会連絡協議会	538
一百 教育研究会連絡協議会	539
一百一 教育研究会連絡協議会	540
一百二 教育研究会連絡協議会	541
一百三 教育研究会連絡協議会	542
一百四 教育研究会連絡協議会	543
一百五 教育研究会連絡協議会	544
一百六 教育研究会連絡協議会	545
一百七 教育研究会連絡協議会	546
一百八 教育研究会連絡協議会	547
一百九 教育研究会連絡協議会	548
一百二十 教育研究会連絡協議会	549
一百二十一 教育研究会連絡協議会	550
一百二十二 教育研究会連絡協議会	551
一百二十三 教育研究会連絡協議会	552
一百二十四 教育研究会連絡協議会	553
一百二十五 教育研究会連絡協議会	554
一百二十六 教育研究会連絡協議会	555
一百二十七 教育研究会連絡協議会	556
一百二十八 教育研究会連絡協議会	557
一百二十九 教育研究会連絡協議会	558
一百三十 教育研究会連絡協議会	559
一百三十一 教育研究会連絡協議会	560
一百三十二 教育研究会連絡協議会	561
一百三十三 教育研究会連絡協議会	562
一百三十四 教育研究会連絡協議会	563
一百三十五 教育研究会連絡協議会	564
一百三十六 教育研究会連絡協議会	565
一百三十七 教育研究会連絡協議会	566
一百三十八 教育研究会連絡協議会	567
一百三十九 教育研究会連絡協議会	568
一百四十 教育研究会連絡協議会	569
一百四十一 教育研究会連絡協議会	570
一百四十二 教育研究会連絡協議会	571
一百四十三 教育研究会連絡協議会	572
一百四十四 教育研究会連絡協議会	573
一百四十五 教育研究会連絡協議会	574
一百四十六 教育研究会連絡協議会	575
一百四十七 教育研究会連絡協議会	576
一百四十八 教育研究会連絡協議会	577
一百四十九 教育研究会連絡協議会	578
一百五十 教育研究会連絡協議会	579
一百五十一 教育研究会連絡協議会	580
一百五十二 教育研究会連絡協議会	581
一百五十三 教育研究会連絡協議会	582
一百五十四 教育研究会連絡協議会	583
一百五十五 教育研究会連絡協議会	584
一百五十六 教育研究会連絡協議会	585
一百五十七 教育研究会連絡協議会	586
一百五十八 教育研究会連絡協議会	587
一百五十九 教育研究会連絡協議会	588
一百六十 教育研究会連絡協議会	589
一百六十一 教育研究会連絡協議会	590
一百六十二 教育研究会連絡協議会	591
一百六十三 教育研究会連絡協議会	592
一百六十四 教育研究会連絡協議会	593
一百六十五 教育研究会連絡協議会	594
一百六十六 教育研究会連絡協議会	595
一百六十七 教育研究会連絡協議会	596
一百六十八 教育研究会連絡協議会	597
一百六十九 教育研究会連絡協議会	598
一百七十 教育研究会連絡協議会	599
一百七十一 教育研究会連絡協議会	600
一百七十二 教育研究会連絡協議会	601
一百七十三 教育研究会連絡協議会	602
一百七十四 教育研究会連絡協議会	603
一百七十五 教育研究会連絡協議会	604
一百七十六 教育研究会連絡協議会	605
一百七十七 教育研究会連絡協議会	606
一百七十八 教育研究会連絡協議会	607
一百七十九 教育研究会連絡協議会	608
一百八十 教育研究会連絡協議会	609
一百八十一 教育研究会連絡協議会	610
一百八十二 教育研究会連絡協議会	611
一百八十三 教育研究会連絡協議会	612
一百八十四 教育研究会連絡協議会	613
一百八十五 教育研究会連絡協議会	614
一百八十六 教育研究会連絡協議会	615
一百八十七 教育研究会連絡協議会	616
一百八十八 教育研究会連絡協議会	617
一百八十九 教育研究会連絡協議会	618
一百二十 教育研究会連絡協議会	619
一百二十一 教育研究会連絡協議会	620
一百二十二 教育研究会連絡協議会	621
一百二十三 教育研究会連絡協議会	622
一百二十四 教育研究会連絡協議会	623
一百二十四 教育研究会連絡協議会	624
一百二十四 教育研究会連絡協議会	625
一百二十四 教育研究会連絡協議会	626
一百二十四 教育研究会連絡協議会	627
一百二十四 教育研究会連絡協議会	628
一百二十四 教育研究会連絡協議会	629
一百二十四 教育研究会連絡協議会	630
一百二十四 教育研究会連絡協議会	631
一百二十四 教育研究会連絡協議会	632
一百二十四 教育研究会連絡協議会	633
一百二十四 教育研究会連絡協議会	634
一百二十四 教育研究会連絡協議会	635
一百二十四 教育研究会連絡協議会	636
一百二十四 教育研究会連絡協議会	637
一百二十四 教育研究会連絡協議会	638
一百二十四 教育研究会連絡協議会	639
一百二十四 教育研究会連絡協議会	640
一百二十四 教育研究会連絡協議会	641
一百二十四 教育研究会連絡協議会	642
一百二十四 教育研究会連絡協議会	643
一百二十四 教育研究会連絡協議会	644
一百二十四 教育研究会連絡協議会	645
一百二十四 教育研究会連絡協議会	646
一百二十四 教育研究会連絡協議会	647
一百二十四 教育研究会連絡協議会	648
一百二十四 教育研究会連絡協議会	649
一百二十四 教育研究会連絡協議会	650
一百二十四 教育研究会連絡協議会	651
一百二十四 教育研究会連絡協議会	652
一百二十四 教育研究会連絡協議会	653
一百二十四 教育研究会連絡協議会	654
一百二十四 教育研究会連絡協議会	655
一百二十四 教育研究会連絡協議会	656
一百二十四 教育研究会連絡協議会	657
一百二十四 教育研究会連絡協議会	658
一百二十四 教育研究会連絡協議会	659
一百二十四 教育研究会連絡協議会	660
一百二十四 教育研究会連絡協議会	661
一百二十四 教育研究会連絡協議会	662
一百二十四 教育研究会連絡協議会	663
一百二十四 教育研究会連絡協議会	664
一百二十四 教育研究会連絡協議会	665
一百二十四 教育研究会連絡協議会	666
一百二十四 教育研究会連絡協議会	667
一百二十四 教育研究会連絡協議会	668
一百二十四 教育研究会連絡協議会	669
一百二十四 教育研究会連絡協議会	670
一百二十四 教育研究会連絡協議会	671
一百二十四 教育研究会連絡協議会	672
一百二十四 教育研究会連絡協議会	673
一百二十四 教育研究会連絡協議会	674
一百二十四 教育研究会連絡協議会	675
一百二十四 教育研究会連絡協議会	676
一百二十四 教育研究会連絡協議会	677
一百二十四 教育研究会連絡協議会	678
一百二十四 教育研究会連絡協議会	679
一百二十四 教育研究会連絡協議会	680
一百二十四 教育研究会連絡協議会	681
一百二十四 教育研究会連絡協議会	682
一百二十四 教育研究会連絡協議会	683
一百二十四 教育研究会連絡協議会	684
一百二十四 教育研究会連絡協議会	685
一百二十四 教育研究会連絡協議会	686
一百二十四 教育研究会連絡協議会	687
一百二十四 教育研究会連絡協議会	688
一百二十四 教育研究会連絡協議会	689
一百二十四 教育研究会連絡協議会	690
一百二十四 教育研究会連絡協議会	691
一百二十四 教育研究会連絡協議会	692
一百二十四 教育研究会連絡協議会	693
一百二十四 教育研究会連絡協議会	694
一百二十四 教育研究会連絡協議会	695
一百二十四 教育研究会連絡協議会	696
一百二十四 教育研究会連絡協議会	697
一百二十四 教育研究会連絡協議会	698
一百二十四 教育研究会連絡協議会	699
一百二十四 教育研究会連絡協議会	700
一百二十四 教育研究会連絡協議会	701
一百二十四 教育研究会連絡協議会	702
一百二十四 教育研究会連絡協議会	703
一百二十四 教育研究会連絡協議会	704
一百二十四 教育研究会連絡協議会	705
一百二十四 教育研究会連絡協議会	706
一百二十四 教育研究会連絡協議会	707
一百二十四 教育研究会連絡協議会	708
一百二十四 教育研究会連絡協議会	709
一百二十四 教育研究会連絡協議会	710
一百二十四 教育研究会連絡協議会	711
一百二十四 教育研究会連絡協議会	712
一百二十四 教育研究会連絡協議会	713
一百二十四 教育研究会連絡協議会	714
一百二十四 教育研究会連絡協議会	715
一百二十四 教育研究会連絡協議会	716
一百二十四 教育研究会連絡協議会	717
一百二十四 教育研究会連絡協議会	718
一百二十四 教育研究会連絡協議会	719
一百二十四 教育研究会連絡協議会	720
一百二十四 教育研究会連絡協議会	721
一百二十四 教育研究会連絡協議会	722
一百二十四 教育研究会連絡協議会	723
一百二十四 教育研究会連絡協議会	724
一百二十四 教育研究会連絡協議会	725
一百二十四 教育研究会連絡協議会	726
一百二十四 教育研究会連絡協議会	727
一百二十四 教育研究会連絡協議会	728
一百二十四 教育研究会連絡協議会	729
一百二十四 教育研究会連絡協議会	730
一百二十四 教育研究会連絡協議会	731
一百二十四 教育研究会連絡協議会	732
一百二十四 教育研究会連絡協議会	733
一百二十四 教育研究会連絡協議会	734
一百二十四 教育研究会連絡協議会	735
一百二十四 教育研究会連絡協議会	736
一百二十四 教育研究会連絡協議会	737
一百二十四 教育研究会連絡協議会	738
一百二十四 教育研究会連絡協議会	739
一百二十四 教育研究会連絡協議会	740
一百二十四 教育研究会連絡協議会	741
一百二十四 教育研究会連絡協議会	742
一百二十四 教育研究会連絡協議会	743
一百二十四 教育研究会連絡協議会	744
一百二十四 教育研究会連絡協議会	745
一百二十四 教育研究会連絡協議会	746
一百二十四 教育研究会連絡協議会	747
一百二十四 教育研究会連絡協議会	748
一百二十四 教育研究会連絡協議会	749
一百二十四 教育研究会連絡協議会	750
一百二十四 教育研究会連絡協議会	751
一百二十四 教育研究会連絡協議会	752
一百二十四 教育研究会連絡協議会	753
一百二十四 教育研究会連絡協議会	754
一百二十四 教育研究会連絡協議会	755
一百二十四 教育研究会連絡協議会	756
一百二十四 教育研究会連絡協議会	757
一百二十四 教育研究会連絡協議会	758
一百二十四 教育研究会連絡協議会	759
一百二十四 教育研究会連絡協議会	760
一百二十四 教育研究会連絡協議会	761
一百二十四 教育研究会連絡協議会	762
一百二十四 教育研究会連絡協議会	763
一百二十四 教育研究会連絡協議会	764

<b>第一節 市立幼稚園の開設</b>	491	<b>第三節 社会教育活動の推進</b>	518
<b>第二節 教育課程と指導の展開</b>	494	一 社会教育総合計画	518
一 幼稚園教育要領	494	二 社会教育センター	519
二 教育目標と指導の重点(教育課程の編成)	497	三 文化協会の設立と活動	521
三 年間指導計画	497	四 第一回産業まつり	523
<b>第三節 教師の研修</b>	503	<b>第四節 家庭教育への指針</b>	525
一 園指定の研究テーマと個人研究	503	一 家庭教育学級	526
二 市教研教育研究部の活動	503	二 家庭教育通信	528
三 その他の研究活動	503	五 学校開放	526
<b>第六章 社会教育</b>	507		
<b>第一節 社会教育整備期</b>	510	<b>第五節 社会教育施設の整備</b>	533
一 社会教育の条件整備	510	一 中央公民館の開館	533
二 社会変ばうと社会教育	511	二 市民ホールの開設	534
<b>第二節 社会環境の変化</b>	512	三 南平体育館の新設	537
一 集合住宅の建設	512	四 七生公会堂の新設	541
二 人口急増	514	<b>第六節 市立図書館の出発</b>	543
三 日野町から日野市へ	516	一 図書館の設立以前	543
		二 図書館設置条例の制定	545
<b>第三期 充実から多様化へ</b>	574		
(日野市教育委員会事務局機構改革以降 昭和五七年(平成八年))			
<b>第一章 教育行財政</b>		<b>第五節 利用施設の拡充</b>	
<b>第一節 学習基盤の確立</b>	576	三 移動図書館による出発	546
一 教育目標と教育予算	576	四 分館設置から中央館建設へ	548
二 児童・生徒の状況と教育課題	576	四 分館設置から中央館建設へ	548
		五 利用施設の拡充	546
<b>概 説</b>	574	<b>第八節 文化財の保護と活用</b>	558
		一 史談会の再建	561
		二 重要文化財	563
		三 遺跡発掘調査	565
		四 日野市史編さん	569
<b>第七節 体育・スポーツの振興</b>	550		
一 体育課の新設	550		
二 スポーツ振興法と体育指導委員	551		
三 スポーツ教室	554		
四 体育協会の設立と活躍	555		
<b>第一節 生涯学習と市民の学習要求</b>	581		
三 生涯学習と市民の学習要求	581		
四 日野市歌の誕生	583		
五 幼児教育センターの出発	585		
六 心身障害教育	587		
七 児童の権利条約の批准と人権教育	588		

<b>第二節 学校教育への多様な取り組み</b>	589
一 四〇人学級の実現に向けて	584
二 副読本の充実	593
三 外国人英語指導補助員の導入	600
四 社会人講師の導入	602
五 帰国子女の教育体制	604
六 学校図書館事務嘱託員制度の発足	606
七 相談学級の開設	608
八 学校週五日制への対応	611
九 いじめ一一〇番の開設	613
十 いじめ一一〇番の開設	614
十一 生活科ゾーン	614
十二 ランチルーム	614
十三 中学校給食食堂方式	617
十四 パソコン教室	619
十五 教育相談室	621
十六 日野第五小学校全面改築	623
十七 余裕教室の活用	627
<b>第三節 学習環境の整備充実</b>	633
一 生活科ゾーン	633
二 ランチルーム	633
三 中学校給食食堂方式	635
四 パソコン教室	637
五 教育相談室	639
六 日野第五小学校全面改築	642
七 余裕教室の活用	644
<b>第四節 教職員の研修・研究</b>	649
一 新しい図書館(百草図書館)	649
二 市民会館の開設	651
三 スポーツ公園市民陸上競技場	653
四 ふるさと博物館	655
五 大成荘の改築と活用	657
六 青少年育成会	659
七 市P協・教育行政懇談会	661
八 地域で教育を語るタペ	663
九 市民ブルの全面改修	665
一〇 学校開放の自主管理方式	667
<b>第五節 社会教育の整備・充実</b>	673
一 アメリカンスクールとの交流活動	673
二 海外からの帰国子女の教育	675
三 外国人子女の日本語指導	677
四 國際理解教育の実践	679
<b>第六節 健康安全教育と学校給食</b>	681
一 疾病・異常の状況	681
二 学校保健会の研究活動	683
三 学校給食会の研究活動	685
四 学校事故防止・点検活動	687
五 新たな課題とその取り組み	689
六 性教育への取り組み	691
七 ランチルームと学校給食	693
<b>第七節 児童の状況</b>	695
一 学校図書館の活用	695
二 保健室登校の実際	697
三 教育相談の状況	699
<b>第八節 教職員の研修・研究</b>	701
一 授業改善委員会の取り組み	701
二 環境学習の実践	703
三 環境副読本「美しいまち日野」の刊行	705
四 副読本「ふれあい」の刊行と活用	707
五 老人とのふれあい活動の実践	709
<b>第三節 老人福祉教育の実践</b>	711
一 副読本「ふれあい」の刊行と活用	711
二 老人とのふれあい活動の実践	713
<b>第四節 環境教育の推進</b>	715
一 環境副読本「美しいまち日野」の刊行	717
二 環境学習の実践	719
<b>第五節 國際理解教育</b>	721
一 環境副読本「美しいまち日野」の刊行	723
二 環境学習の実践	725
三 環境副読本「美しいまち日野」の刊行	727
四 環境学習の実践	729

第二章 第二節 老人福祉教育の実践	761
一 「老人とのふれあいを求めて」副読本の刊行	
二 ふれあい活動の実践	763
第三章 第三節 環境教育の推進	765
一 副読本「美しいまち日野」の刊行と利用	
二 環境教育と結びついた勤労体験学習	
三 学校におけるリサイクル活動	767
第四章 第四節 國際理解教育	769
一 外国人英語指導補助員の導入	
二 海外帰国子女の教育	771
三 生徒会における米国姉妹校との交流	774
第五章 第五節 健康安全教育と学校給食	777
一 生徒の体位・体力・疾病・異常	
二 安全教育	778
三 食堂自校方式による完全給食	782
第六章 第六節 進路指導	787
一 生き方教育と進路指導	
二 特色ある進路指導の実践	787
三 業者テストと偏差値教育の是正	791
四 都立高校入試制度の改正	793
第七章 第七節 生徒の状況	796
一 生徒会サミット	
二 活発な部活動の実態	796
三 生徒の手による学校行事の運行	800
四 生活指導上の諸問題	802
五 校則と生徒会	804
六 登校拒否生徒の増加状況と対応	807
第八章 第八節 教職員の研修・研究	812
一 研究奨励事業の研究内容	
二 校内研究と研究テーマ	813
三 各種主任会の研究活動	812
四 中教研の研修活動	818
第九章 第九節 学校と地域・家庭	820
一 地域の教育力を生かした実践	
二 育成会(青少協)との連携	820
三 諸機関との連携	822
四 「学校だより」による家庭への啓発	824
第十章 第四章 心身障害教育	829
第一節 情緒障害学級の開設と指導内容	
一 設置の経緯と設置校(百草台小・七生中)	829
二 指導内容と指導の展開	832
第二節 交流教育の推進	833
一 交流教育の実践	
二 心身障害教育の地域理解	836
第三節 日野市心身障害教育推進協議会の活動	838
第四節 就学相談の状況と課題	842

## 第五章 幼稚園教育

第一節 市立幼稚園の増設とその教育	847	第一節 市民意識と学習要求	869
一 新しい幼稚園の開設		一 意識調査による学習要求	
二 専任園長制の導入	849	二 市民の利用と参加	
三 教育目標と指導の重点・年間計画	850	第三節 地域に生きる社会教育	875
第二節 園児の状況	852	一 学習のフィールド	
一年中行事	852	二 市民サークル	
二 遊び	856	三 青少年問題協議会と育成会の誕生	884
二 日野教研幼稚園部の研究	858	四 子ども会と地域活動	887
第一節 園内の研究	858	第五節 家庭教育の拡充	889
二 日野教研幼稚園部の研究	858	一 家庭教育学級の見直し	
第六章 社会教育	862	二 家庭教育相談	
第一節 生涯学習と社会教育の多様化	865	三 幼児の親子教室	
一 生涯学習施策の促進	865	四 家庭教育通信	
二 社会教育の多様化	867	第五節 青少年教育	896
第六節 成人教育	902	一 青年教育	
一 婦人学級	903	二 子ども会連合会との関連	
二 ことぶき大学	904	三 障害者教育	
第七節 市立図書館の発展と課題	908	第六節 市立図書館の発展と課題	932
一 どういう図書館か	908	一 各種競技やイベント	
二 図書館利用の増大と推移	910	第二十一節 文化活動と市民会館の開設	936
三 図書館サービスの深化	912	一 市民文化祭	
四 今後の課題	913	二 学習とふれあい	
第八節 公民館の活動と利用	915	第二十二節 幼児教育センターの設立	943
一 活動内容	915	一 設立の経緯	
二 利用状況	919	二 研究活動の概略	
第九節 ふるさと博物館	921	三 これからの幼児教育	
一 開設と利用状況	921	第九節 ふるさと博物館	947
二 企画展	922	一 開設と利用状況	
三 学校との連携	926	二 企画展	
第一〇節 体育・スポーツの発展	926	三 学校との連携	
一 施設の拡充(スポーツ公園・市民プール他)	926	第四節 ふるさと博物館	947

## 終 章

## 序 章

日野市の教育のために .....	.....
教育行財政の課題と展望 .....	.....
学校教育の課題と展望 .....	.....
社会教育の課題と展望 .....	.....
教育座談会「日野の教育の足跡と展望」 .....	.....
日野市戦後教育史年表 .....	.....
	965 957 954 952 950 950

## 主要参考文献・資料

## 編さん関係者

編さん委員・編集委員・執筆者・協力者・機関

## 日野市戦後教育史の編集を終えて

## Q &amp; A

1 でも・しか先生 .....	122
2 多摩動物公園と市民生活との関連 .....	208
3 学校建設と国庫補助金 .....	246
4 さやか学級（病院内学級） .....	488
5 学級編制と教員定数 .....	592
6 教員加配制度の意味と背景 .....	662
7 中学校の性教育 .....	782
8 幼児教育の広がりを求めて .....	850
9 市域・近隣の大学と市民生活 .....	878